



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 永大化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7877 URL <https://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦 義則

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田中 敏幸

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,989	0.2	206	14.1	203	28.4	121	40.6
2019年3月期第3四半期	5,974	0.2	240	6.0	283	13.9	205	9.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 104百万円 ( 36.4%) 2019年3月期第3四半期 164百万円 ( 13.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	85.02	
2019年3月期第3四半期	161.96	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,226	6,906	74.9
2019年3月期	8,970	6,620	73.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,906百万円 2019年3月期 6,620百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		65.00	65.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	2.4	240	21.7	240	32.6	140	46.1	97.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,460,000 株	2019年3月期	1,460,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	29,504 株	2019年3月期	193,944 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,433,202 株	2019年3月期3Q	1,266,156 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、企業収益と個人消費の伸び悩みと相次ぐ自然災害の影響や消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要があるなど不透明感も残っております。一方、海外経済は、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱の行方による海外経済の不確実性などが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、自動車用フロアマットメーカーとして顧客のニーズに沿った新製品の開発から既存品の高付加価値商品化を継続的に創出し、また異型押出成形加工の技術力強化およびプラスチック製品の成長分野を深堀し事業基盤の一層の強化への取り組みに努めてまいりましたが、売上高59億89百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益2億6百万円（前年同期比14.1%減）、経常利益2億3百万円（前年同期比28.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億21百万円（前年同期比40.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 自動車用品関連

自動車用品関連につきましては、自動車用フロアマットの売上は、国内自動車販売台数は普通車および軽自動車ともに伸び悩んでおり、消費増税の駆け込み需要もなく新型車の販売効果も極めて少なかったことなど低調に推移したことから、売上高40億78百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益1億15百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

#### ② 産業資材関連

産業資材関連につきましては、下水道補修用部材は下水道の老朽化および長寿命化対策を背景に好調でありましたが、半導体関連部材は米中貿易摩擦の影響による生産調整が続いているため低調に推移し、家電関連部材は消費増税後の反動減の影響などから全体としては売上微減であったこと、また新たに子会社化した株式会社K&Mの合成木材製品のデッキ材やフェンス材のエクステリア向け製品の売上が加わったことから、売上高19億10百万円（前年同期比45.2%増）営業利益91百万円（前年同期比84.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、および健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、92億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億55百万円の増加となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して2億79百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少1億17百万円、受取手形及び売掛金の減少1億82百万円、その他の流動資産の増加35百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して5億35百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加5億6百万円、その他無形固定資産の増加40百万円、繰延税金資産の減少41百万円、投資その他の資産の増加42百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、23億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して30百万円の減少となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して4億85百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少26百万円、電子記録債務の減少2億78百万円、賞与引当金の減少39百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して4億55百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加4億67百万円、役員退職慰労引当金の減少32百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、69億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億86百万円の増加となりました。その主な要因は、資本剰余金の増加67百万円、利益剰余金の増加38百万円、自己株式の減少1億97百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想については、2019年5月10日に公表しました通期の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2020年2月10日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,086,734	1,969,414
受取手形及び売掛金	1,646,650	1,464,235
商品及び製品	833,188	935,028
仕掛品	162,202	143,693
原材料及び貯蔵品	777,986	688,661
未収入金	82,761	72,644
その他	60,706	96,656
流動資産合計	5,650,231	5,370,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	612,695	743,446
土地	1,544,809	1,842,844
その他(純額)	495,521	573,126
有形固定資産合計	2,653,026	3,159,417
無形固定資産		
土地使用権	212,231	199,929
その他	15,813	56,219
無形固定資産合計	228,044	256,148
投資その他の資産		
繰延税金資産	93,146	51,570
投資その他の資産	346,286	389,150
投資その他の資産合計	439,432	440,720
固定資産合計	3,320,503	3,856,286
資産合計	8,970,734	9,226,619
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	637,180	610,905
電子記録債務	693,479	415,410
短期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	83,962	6,637
賞与引当金	116,566	76,905
役員賞与引当金	5,800	—
その他	246,620	187,881
流動負債合計	1,833,609	1,347,739
固定負債		
長期借入金	100,000	567,663
繰延税金負債	—	34,794
再評価に係る繰延税金負債	281,303	281,303
役員退職慰労引当金	54,578	22,574
退職給付に係る負債	81,001	66,121
固定負債合計	516,883	972,457
負債合計	2,350,492	2,320,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,271,253
利益剰余金	3,818,509	3,857,114
自己株式	△237,677	△40,218
株主資本合計	6,026,286	6,329,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,621	44,455
繰延ヘッジ損益	△2,005	325
土地再評価差額金	476,930	476,930
為替換算調整勘定	100,012	70,017
退職給付に係る調整累計額	△17,603	△15,156
その他の包括利益累計額合計	593,954	576,572
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,620,241	6,906,422
負債純資産合計	8,970,734	9,226,619

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	5,974,684	5,989,434
売上原価	4,497,700	4,560,609
売上総利益	1,476,984	1,428,825
販売費及び一般管理費	1,236,486	1,222,283
営業利益	240,497	206,541
営業外収益		
受取利息	219	284
受取配当金	2,356	2,632
為替差益	34,848	—
受取賃貸料	3,333	3,313
その他	3,999	8,444
営業外収益合計	44,757	14,675
営業外費用		
支払利息	540	3,364
為替差損	—	10,671
その他	1,011	3,918
営業外費用合計	1,552	17,953
経常利益	283,702	203,263
特別利益		
固定資産売却益	3,869	1,896
その他	—	39
特別利益合計	3,869	1,935
特別損失		
固定資産処分損	483	10,727
和解金	—	14,153
特別損失合計	483	24,880
税金等調整前四半期純利益	287,088	180,318
法人税、住民税及び事業税	47,809	22,587
法人税等調整額	34,216	35,876
法人税等合計	82,026	58,464
四半期純利益	205,062	121,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	205,062	121,854



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	205,062	121,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,050	7,834
繰延ヘッジ損益	4,567	2,331
為替換算調整勘定	△3,211	△29,994
退職給付に係る調整額	5,990	2,446
その他の包括利益合計	△40,702	△17,382
四半期包括利益	164,359	104,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,359	104,472
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月10日付で当社を株式交換完全親会社として株式会社K&Mを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が212,916千円減少しております。該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	4,659,017	1,315,667	5,974,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,659,017	1,315,667	5,974,684
セグメント利益	191,142	49,355	240,497

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	4,078,904	1,910,530	5,989,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,078,904	1,910,530	5,989,434
セグメント利益	115,344	91,197	206,541

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式会社K&Mを取得し、新たに連結範囲に含めております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「産業資材関連」のセグメント資産が879,218千円増加しております。